

■福岡（宗像市）の実施報告

## 金融教育実践報告

宗像市立自由ヶ丘中学校

自由ヶ丘中学校は、福岡市と北九州市の中間付近に位置し、平成22年度より宗像市小中一貫教育による教育活動の推進に向けて自由ヶ丘小、自由ヶ丘南小とともに「学びの丘学園」としてスタートしました。本学園の教育目標「自己教育力と協働的学習力を身に付けた子どもの育成」を目指し、「本気で学ぶ心」と「学び合う力」の資質・能力の育成に向けて取り組んでいます。

本校は金融教育研究校の指定を受け、独自の金融教育の視点を設定し、金融教育カリキュラム表の作成と、3段階（見通す段階・協働的な段階・振り返る段階）の学習過程の工夫を通じた授業づくりに取り組みました。本年度は全教職員が、教科等において金融教育の視点を踏まえた授業実践を行いました。

### 1. 授業実践

#### (1) 1年国語科 単元名「話題や方向を捉えて話し合おう」

##### \*金融教育の視点【2-2 経済把握】

家計、企業、金融機関、政府の役割や、海外の「もの」、「お金」、「人」の流れや市場経済の意義を理解する。需要と供給によって「もの」の値段が変化することを理解する。

単元「話題や方向を捉えて話し合おう」のグループディスカッションでは、「鉛筆1本を2万円で売るにはどうすればよいか」という課題を解決するために、生徒一人ひとりが「需要と供給」、「付加価値」、「素材の値段」などの視点をもとにアイデアを出し合いました。この学習を通して「説得力のある意見を伝えるために必要なこと」を考えるとともに、普段は気にすることがない身近なものの価格の決定について学ぶ機会となりました。



## (2) 1年社会科 単元名「アジア州」

### \*金融教育の視点【2-2 経済把握】

家計、企業、金融機関、政府の役割や、海外の「もの」、「お金」、「人」の流れや市場経済の意義を理解する。需要と供給によって「もの」の値段が変化することを理解する。

この授業は、東アジア・東南アジアの資料をもとにその国の経済成長の段階を読み取り、どの国に投資を行うことが最適であるか、理由を考えて話し合う活動を行いました。

生徒が資料から最適だと考える投資先を選ぶ学習活動から、生徒は国が経済的に成長する際に必要な要素を学ぶことができていました。



## (3) 2年国語科 単元名「魅力的な提案をしよう」

### \*金融教育の視点【3-1 自立した消費者】

自立した消費者として行動するための基礎知識と態度を身に付ける。

ふるさと「宗像」の環境や社会に配慮した消費生活の大切さを理解する。

単元「魅力的な提案をしよう」のプレゼンテーションでは、旅行会社の社員(話し手)として、旅行プランの紹介プレゼンを作り、お客様(聞き手)に提供する活動を行いました。この活動で、自立した消費者として行動するための知識や技能を身に付けるとともに、ふるさと「宗像」の環境や社会に配慮した消費生活の大切さを理解することができました。



#### (4) 3年数学科 単元名「いろいろな事象と関数」

##### \* 金融教育の視点【3-2】

悪質商法など消費者問題について理解し、お金とのつきあい方について考える態度を身に付ける。金利計算能力を身につけ、金利負担について理解し、適切な行動とることができる。

この授業では、関数を利用し、利息（単利・複利）の計算をする活動を行いました。「2万円借りた場合、支払総額はどう変動するのか」という問題に対し、支払額と利息の表を作成し、表からわかることを考えました。この活動を通して、お金を借りるときは、金利や借入期間による利息を確認し冷静な判断することが大切であるということと、自立した消費者としての知識を身に付けることができました。



## 2. 金融教育講演会

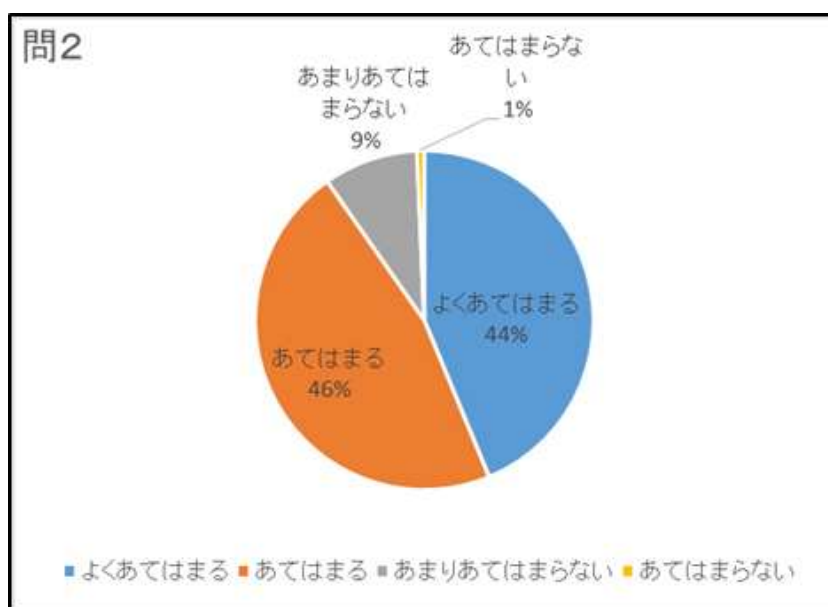


福岡県金融広報委員会より金融広報アドバイザーの久恒恵美子様をお招きし、「人生、お金、金融知識」と題して金融教育講演会を実施しました。（令和2年12月16日実施）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、同時3カ所（特別教室）へのリモート配信を行い、学年で集合せず各教室で講演を聴き、お金や将来のことを学ぶことができました。

### 3. 成果と課題

問 自分の生活と社会のつながりについて考えることができたか。  
(金融教育講演会後の生徒アンケートより抜粋)



成果としては、各教科等において「金融教育の視点」を踏まえた授業実践や講演会後の生徒アンケートから「自分の生活と社会とのつながりについて考えることができたか」という問いに90%の生徒が肯定的な回答をしています。本研究において生徒自身が普段は気づかなかった自分の生活やお金のことに考え、今後の人生に向けて考える機会となりました。

課題としては、全教科等で金融教育の視点を踏まえた授業実践を行ったが、各教科間での横断的な学びの効果を実証することが不十分でした。今後も、教科等の中で継続的に金融教育の視点を踏まえた授業づくりを実践し、金融教育における学びの場を広げ、学びを繋げながら、生徒が将来生きていくうえで必要となる金銭感覚や資質・能力を育成することが必要であると考えます。

以 上